



学校だより

巣立ちの時を迎えて

校長 横山 圭介

日毎に暖かさを増す陽射しに、春が近付いていることを感じる季節となりました。六年生百四十九名は、いよいよ小学校生活からの巣立ちの時期を迎えます。

二十三日に予定されている「卒業式」は、六年生が小学校生活を振り返り、自分たちの成長を感じるとともに、保護者の方をはじめとして、お世話になった方々に感謝の思いを伝える大切な儀式的行事であり、小学校最後の学習活動です。今年一年間、様々な場面で、助け合い、協力しながら最上級生としての力を発揮してきた子供たちは、きっと思い出に残る素敵な姿を見せてくれることでしょう。

さて、卒業の「業」と言う字には、「苦勞して成し遂げる事柄」と言う意味があります。学校は子供たちにとって楽しい場所でもありますが、学習をしたり、時間や規則を守ったりという「苦勞」を強いられる場所でもあります。子供たちにとっての「苦勞」は学業だけではなくありません。元気に外で遊んだり、友達と仲良くしたりといった楽しいはずと思えることも、時により人によっては「苦勞」の種となっています。

この一年間、卒業する六年生だけでなく、それぞれの学年の子供たちが、その年齢や個性に応じた「苦勞」を重ね、少しずつできることを増やして、成長を続けてきました。進学、進級を控えたこの時期に、保護者の皆様には、お子さんの一年間の成長を認め、ともに喜び合う機会をぜひ設けていただきたいと思います。学校でも、子供たちが笑顔で年度末を迎え、新しい生活が始められるように、残り一ヶ月の教育活動に全力で取り組んでまいります。御協力をよろしくお願いします。

教育目標

歴史を誇る久が原の大地に

深く根を下ろし桜のように明るく潔く、

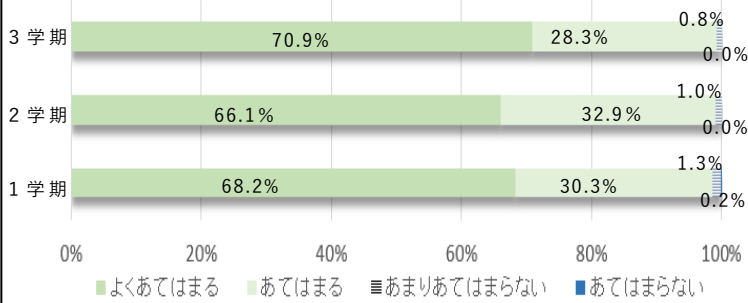
樺のように天高く伸びてゆく久原小学校に学ぶ子は、

- 一、健康な子
- 二、考える子
- 三、やさしい子
- 四、礼儀正しい子

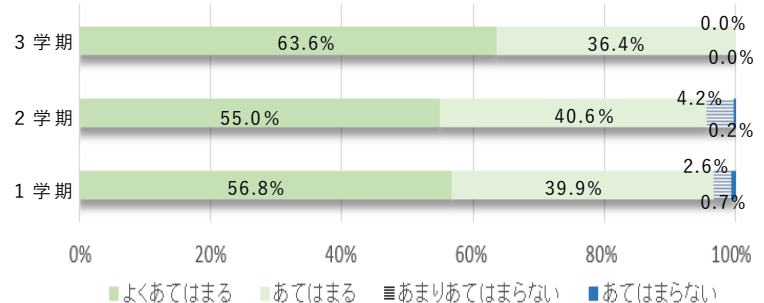
1月の学校公開の御参観、ありがとうございました。

学校公開の御参観、またアンケートの御協力ありがとうございました。今年度のアンケートの集計結果を報告します。いただいた御意見は教職員全体で共有し、来年度の学校運営に生かして参ります。

1 子供たちにとって分かりやすい授業をしていた



2 子供たち一人一人の活動が充実していた



日	曜	予定	備考	日	曜	予定	備考
1	水	B時程		17	金	放課後算数補習教室	
2	木	B時程	SCU	18	土		
3	金	B時程 発育測定(6) 保護者会(1・2・3)		19	日		校
4	土			20	月	卒業式予行 午前授業(1~5)	
5	日			21	火	春分の日	
6	月	全校朝会 クラブ活動		22	水	B時程 給食終	
7	火		SCS	23	木	卒業式	
8	水	B時程 児童集会(集会) 保護者会(4・5・6)		24	金	土曜日時程 修了式 大掃除	
9	木	B時程	SCU	25	土		
10	金	B時程 安全指導日		26	日		
11	土	土曜授業3時間 6年生を送る会 算数土曜補習11時30分		27	月	春季休業日始 4月5日まで	
12	日		校	28	火		
13	月	全校朝会 5時間授業		29	水		
14	火		SCS	30	木		
15	水	B時程		31	金		
16	木		SCU				

(備考)

SCU：浦山スクールカウンセラー来校
SCS：佐々木スクールカウンセラー来校
ス：スポーツ開放 校：校庭開放

生活目標	1年間のまとめをしよう。
給食目標	自分の食習慣を見直そう。
保健目標	耳を大切にしよう。1年間の健康生活の反省をしよう。
安全目標	交通の規則を守ろう。

久原フェスタ

久原フェスタ委員長 内田 夏実

19回目の開催となりました久原フェスタが2月17日、18日に行われました。今年度は、全学年同時発表を実現したことで、子供たちは前年度に比べ、他学年の発表を多く聞きに行くことができました。また、今年度授業でお世話になったゲストティーチャーの方々にも御来校いただき、子供たちの発表を見て頂いたことは、子供たちにとって多くの実りになりました。PTA役員、お手伝いの皆様、保護者の皆様には今年度も新型コロナウイルスの感染予防対策を行ううえで、多大なる御協力をいただきました。感謝申し上げます。

どの学年もそれぞれのブースで、この1年間で学習したことから考えたこと、伝えたいことを全力で発信する姿が見られました。当日の発表の一部を紹介します。

○1年生「みんな・だいすき ぴっかぴか」

入学してからの1年を振り返り、学校・季節・お花・家族の中で見付けたことをぴっかぴかの笑顔で伝えました。

○2年生「わくわくはっけん つたえ隊」

身近なものを使った遊び、みんなが住んでいる久が原のすてき、自分たちで育てた野菜について、発見したことを伝えました。

○3年生「わたしたち久が原 PR 大使」

久が原の自慢である呑川・遺跡・銭湯について、3年生がPR大使となり魅力を発信しました。

○4年生「久が原防災プロジェクト」

「大きな地震が来た時に、自分の命を守れるのか。」という課題に1年間取り組み、命を守るために大切なことを伝えました。

○5年生「ものづくり OHTA! in 久原」

大田のものづくりの良さを伝え、よりよい未来に向け私たちが取り組んでいくことのできることを発信しました。

○6年生「広げよう わたしたちの可能性」

「働くとは何か」を探求してきた6年生がベーシックインカム導入の是非について議論しました。



校内研究を終えて

研究主任 杉山 夏実

今年度は、研究主題を「地域への愛着をもち、よりよい地域・社会・未来を創造する子」と設定し、生活科、総合的な学習の時間の研究を進めてきました。「地域と連携・協働して思いや願いを実現したり、課題を解決したりすることによって、よりよい地域・社会・未来を創造する力が身に付き、自己の生き方を考えることができるようになってほしい」と考え、新たに教材開発をしたり学習展開の工夫を取り組んだりしてきました。

生活科では、具体的な活動や体験を通じて、「身近な生活に関する見方・考え方」を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成すること、総合的な学習の時間は、「探究的な見方・考え方」を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指しています。

近年、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や人工知能(AI)の飛躍的な進化、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大など、世の中は急速に変化しています。今年度の校内研究では、学習に関わる様々な職業の方や地域の方と交流することや身近な地域に出掛けて実際の自然や物と密接に関わることを通して、今後の成長につながる新たな価値を生み出したり、自己の生き方を考えたりできるよう試行錯誤しながら授業の組み立て方を研究してきました。

一年を振り返り

生活指導部 神野 麻衣

令和4年度がもうすぐ終わりを迎えようとしています。今年度は皆様にとって、どのような1年だったのでしょうか。新型コロナウイルス感染症の影響で狭まっていた活動が少しずつ緩和され、できることも前年度より増えてきました。子供たちはそんな毎日の中で新たな発見を楽しみ、新たな挑戦と向き合ってきました。きっと御家庭でもお子様の成長を感じる場面がたくさんあったことと思います。学校では、この時期に1年の振り返りを行い、自分自身の成長を感じながら、次年度に向けて目標を考えていきます。ぜひ、御家庭でもこの1年間で振り返っていただき、お子様の学校での頑張りや成長、一生懸命取り組んだ姿を認め、褒めてあげていただければと思います。子供たちは何より、御家庭での声掛けが力になります。

また次年度も、新たな事に目をきらきらさせる子供たちの成長を見守れるように、教職員一同、努めてまいります。